

# Weekly Bulletin 2014-2015



RI会長  
ゲイリー・C.K. ホナン  
(黄其光)



## 静岡東ロータリークラブ

会長/伊藤洋一郎 幹事/相原雄治

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週(木曜日)12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長  
伊藤洋一郎



## 第 2704 回例会

平成 27 年 2 月 26 日 天候 雨

《司 会》 相原雄治 君

《合 唱》 「静岡東ロータリー」

《BGM》 「懐かしのクラシック」

《ゲスト》 なし

《ピジター》 竹田昭男 君(静岡日本平RC)

### 《本日のお祝い》

お誕生日

3月3日 佐野哲一 君

結婚記念日

該当なし

### 《会長挨拶要旨》

#### 春の予感



1. ここ数日、あたたかい日が続いて梅もすっかりほころび河津桜も咲き始めています。昨日、清水で3分咲きの河津桜に出会いました。この時期に咲き始めた桜に出会うと「あっ！桜だ」と声をあげそうになります。春の気配を感じると「一雨ごとに春を感じる季節となりました」などと表現をして、私たちはやがて来る春を迎える準備に入ります。①梅が満開になり ②ミモザも咲き ③沈丁花のつぼみもふくらんできました。

2. 春を迎える気持ちのこのワクワク感って何だろうと考えてみました。寒い冬が続いてやがて春の気配がする。春風が吹き始めて、そんな春の風に吹かれていると、人の一生には、自然というもう一つの現実があることを改めて教えられる。春の風に吹かれると、なぜか、わけの分からない元気が湧いてきます。それは、「とにかくやってみよう」という説明のつかない、わけの分からない力のようなものではないでしょうか。そんなとき、人間もまた、自然に包まれる動物だと実感する瞬間です。人間は、自然がなくては生きてゆけないものですが、自然は人間など必要としないで悠久の時を刻んでいます。

3. この時期、そして春になると、もう一步、もう少しだけ先へ進もうと思います。昔から「春を迎える」といって春を待つ気持ちが語られるのは、そんな心持ちなのかもしれません。

4. もっとも、最近では「花粉症」に悩まれる方も多くなり春の予感がする頃、春を迎える心や春の宵の楽しみを待ち望むとは言えなくなってきています。残念なことです。「花粉症」の問題は自然の人間に対する重大な警告であるように思います。春を迎え、春を想うとき、私たちは自然と向き合うことの大切さを改めて想う必要があるかもしれません。

### 《会員卓話》

#### 「イタリア施設給食視察報告」

川口尚宜 君



私は日本以外の国ではイタリアが一番好きです。おいしい料理と風光明媚な景色もありますが、現在の地球文化の基礎を作ったのは、2,000年前の古代ローマ人だからです。古代ローマ人が憧れお手本にしたのはギリシャですが、古代ローマ人がギリシャ文化を発展させ周りの国を同化してローマ人として取り込み、ヨーロッパと北アフリカや西アジアにインフラ整備とともに広め、西洋文化となりました。いまや世界中がその文化の影響を受けています。選挙で民主的に首長を決める制度、ローマ街道の舗装道路や上下水道、コロッセオに代表される大型建築も2,000年前からありました。ヨーロッパ、北アフリカのどこに行ってもローマ時代の遺跡を見ることが出来ます。イタリアは国自体が世界遺産のような国なのです。詳しくは、塩野七生(しおの ななみ) 著「ローマ人の物語」に書かれていますので一読をおすすめします。300ページ17冊に及ぶ大作ですが、現代社会にも通じる示唆に富んだ歴史に学ぶよいお手本になると思います。私は、現在13冊目を読んでいます。10年以上前ですが、兵站(ロジスティクス)や戦略に関することを学ぶには2つの本が良いと人に勧められた一つです。もう一つは司馬遼太郎の坂の上の雲でした。どちらも本当に良い本です。

本日は、昨年の9/25～10/4までの10日間大好きなイタリアに病院や福祉施設の給食事情の視察に行ってきたのでご報告致します。

私は、今回で3回目のイタリアでした。最初が大学4年の卒業旅行でヨーロッパ大陸をユーレイルパス1枚握りしめての一人旅でした。2度目のイタリアは新婚旅行でどうしても世界遺産のカプリ島にある「青の洞窟」を見たくて行きました。荒波で洞窟に入れるかどうか1/2の確率を見事くぐり抜け、ボートに身を伏せて青の洞窟に入った瞬間の感動は忘れられません。

今回3回目にして初めて訪問した世界遺産の街ベネチアはアドリア海の女王と言われる通り本当に美しい街でした。フィレンツェ、ナポリ、ローマとどこに行っても美しい街ばかりです。

では、かつて世界一の栄華を誇り「すべての道はローマに通ず」と言われるイタリアの現在はどうでしょうか？2007年のリーマンショックから7年連続で経済のマイナス成長が続き、来年ようやくプラスになりそうだというタイミング。今、イタリア人は戦後で最も暗いと言われているそうです。2007年7%弱だった失業率は現在12%。18～25才失業率は44%。これでは将来に希望は持てません。そんなイタリアの希望の光が昨年の2月に就任した当時39才マッテオ・レンツィ首相です。ベルルスコーニ首相の「政治と言えばスキャンダル」という改革が止まった20年間がやっと終わり、根本的な議論がようやく始まった所とのこと。今後に期待したいです。

さて、そんなイタリアの病院や福祉施設の施設給食事情ですが、直営15%、委託85%と委託給食が一般的になっています。世界的な規模のソデッソやコンパスグループが進出している一方、地元の給食会社もあります。今回、その両方を視察することができました。HACCPに基づく科学的・衛生的な管理方法を取り入れる一方、試食ではさすがにイタリアンというおいしいお料理の提供もなされていることが試食を通してわかりました。給食の海外視察は、いつも日本の給食のきめ細かさ、いろいろメニューの豊富さ、衛生管理の徹底など日本の良さを再確認する旅になるのですが、イタリアでは日本より進んでいる所があり正直ビックリしました。まずプリモ（パスタ・スープなど前菜）を7アイテムから選択しセコンド（肉魚の主菜）を6アイテムから選択し、前日までに病院のベッドからタブレットを使って入力できました。次に厨房から病室までの配膳は、配膳ロボットによる全自動配膳システムが組まれていました。

そんな進んだハードを見せてもらった後、年商75億円の地元企業の給食会社で話を伺う機会があり、公的機関との取引が90%で民間との取引は10%だと聞きました。理由は公的機関の方が決済サイトが早いからだとのこと。サイトは何日ですかとの質問に240日との答え。全員椅子から転げ落ちそうになりました。では、民間は何日ですかと質問した所日ではなくて1～2「年」との答え。1年でもビックリなのに「～2年」とついて普通に決算をまたいでしまいます。どこから焦げ付きというのかさえ分からなくなりました。回収までの期間の運転資金はどうするのかなと思いましたが、もう聞く人はいませんでした。

今回の視察旅行中、15名の参加者の内、2名の方が財布をすられました。私は、神野会員より事前にレクチャーを受けていたので無事でしたが、有名な観光地には周りの国から

来た腕に覚えのあるすり集団がいて虎視眈々と財布を狙っていると聞きました。最近、ジプシーの若い女の子のスリが多いとのこと。イタリアでは若い女の子が寄ってきたら要注意です。

そんなイタリアですが、どこに行っても歴史と文化を感じすごい国だなあと何度行っても感動します。料理はおいしく人も陽気、街は世界遺産だらけのイタリアの魅力にさらにはまった視察旅行でした。

### 《スマイル報告》

由利 浩志 君

2月7日開催されました静岡第4分区IM、中嶋実行委員長はじめ実行委員会の皆様のご協力ですばらしいIMになりました。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

伊藤 洋一郎 君

IMが、無事終わりました。由利ガバナー補佐、実行委員会の皆様当日の会員の皆様、ご苦労さまでした。

佐野 哲一 君

人口減少に悩む日本のために人口を一人増やすことに成功しました。その遠因は40数年前の作業開始ですが以後、長年に渡るその努力を祝ってこの度頂いた花が、今回は特別に美しく輝いて見えます。有難く、もう一人頑張らせませす。体調が少しずつ良くなってきました。80%程度でしょうか。ゴルフも何とか100を切れるようになりました。

宮川 沓 君

2月7日IMの成功を祝してスマイルします。実行委員の皆様いろいろとご苦労様でした。

相原 雄治 君

戸塚 敦雄 君

8回目の東京マラソンを走って来ました。一年ぶりの42.195kmで大苦戦でしたがのんびりの完走でした。

中嶋 達郎 君

2月7日のIM無事終わりました。皆さんの協力を頂いた事に大変感謝をしてスマイルします。

川口 尚宜 君

つたない私の卓話をガマンして聞いて頂いた皆様に感謝してスマイルいたします。卓話の機会をいただいた事にも感謝します。

河原崎 宏之 君

昨年、2月は静岡、山梨地区にも大雪で大変な輸送障害がありました。今年は今のところ大きな災害もなくこのまま春になってもらいたいと願いつつスマイルします。

### 《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
2/26	54(53)	42	11	-	-	-
2/16	54(51)	40	11	-	-	-
2/7	54(51)	39	12	6	6	88.24%
2/5	54(52)	42	10	6	4	92.31%
1/29	54(53)	44	9	4	5	90.57%